



South Miyagi Medical Center

中核だより



病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

- 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
- 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
- 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

主な内容

看護師募集中
詳しくはホームページをご覧ください



発行年月日 平成30年2月1日

発行・編集／みやぎ県南中核病院 広報委員会発行



ホームページ <http://www.southmiyagi-mc.jp/>
宮城県柴田郡大河原町字西38-1 TEL 0224-51-5500(代表)

23 ページ

3 ページ

4 ページ

5 ページ

6 ページ

7 ページ

8 ページ



みやぎ県南中核病院15年の歩み(2)

副院長 高 橋 道 長

今回は当院の診療科の変遷を中心に振り返ります。平成14年の開院当初は、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、消化器内科、循環器内科、放射線科、病理診断科、産婦人科、小児科、歯科口腔外科のわずか21名の常勤医師で始まりました。ほぼ現状の1市3町(+α)に匹敵する医療圏の救急患者に対し、開院当時、一人で全科当直を担当していたことは、いかにもやむを得ない事情だったとは言え、日当直医は大変な負担を感じながら日当直業務についていました。一方、この時期、時間外の緊急手術の際には、非常勤の東北大学の麻酔医を手術のたびに呼び出していました。腹腔内出血や下部消化管穿孔などの一刻を争うような緊急手術の際には、手術室の前のエレベーターホールで麻酔医の到着を心待ちにしていました。平成15年4月に待望の麻酔科医師2名が当院に着任したことにより、時間外の緊急手術への対応が格段に向上し、かつスピードアップされました。平成17年には呼吸器内科、平成18年には神経内科が診療を開始し、消化器内科も平成20年には循環器内科とともにスタッフは5名まで増員されました。現在、消化器内科は、上部下部消化管出血や胆管結石による急性胆管炎に対する緊急内視鏡治療を、循環器内科は狭心症や心筋梗塞の治療のための緊急カテーテル検査を常時施行できる体制を整えております。呼吸器内科



では、高齢者に多い肺炎や閉塞性肺疾患に加えて、最近本邦で死因のトップになった肺がんの診断と治療を行っています。脳梗塞やくも膜下出血などの脳血管疾患に対しては、神経内科4名、脳神経外科3名からなる脳血管チームが待機しており、内科的あるいは外科的に緊急対応しています。外科では、消化器内科から紹介された消化器の悪性腫瘍や胆石症に加え、鼠径部ヘルニアや急性虫垂炎などを治療対象にしており、最近では手術症例のほぼ半数を腹腔鏡手術で行っています。整形外科では、高齢者に多い大腿骨頸部骨折をはじめとする外傷性骨折手術を中心に、脊椎手術や人工関節手術も行っています。以前は、少数の医師で診療にあたっていた小児科・産婦人科・救急科は、県南地域のセンター的医療機能を果たすため、次第に増員され、今では、各々4~5名のスタッフを揃えて、日夜切れ目のない高度な診療を行っています。今回は、誌面の都合でご紹介できなかった診療科に加え、さらなる病院機能の向上を目指し、平成21年以降、腎臓内科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、糖尿病・代謝内科などの診療科に常勤医師が着任しました。現在は非常勤医師を含めて病院全体で31の診療科目を標榜しています。

ハード面では、平成25年2月に既存の建物の西側に新棟が竣工し、県南唯一の放射線治療装置が設置され、外来化学療法室と地域救命救急センターが開設されました。これまで、県立がんセンターなどに頼らざるを得なかつた乳癌や直腸癌などの放射線治療を、当院で実施できる設備・態勢が整ったことに加え、外来で専門性の高い抗がん剤治療を提供できるようになりました。また、救急センターの拡張とスタッフの増員により、救急患者の受け入れ態勢が格段に向上し、診断から初期治療まで、よりスムーズにかつ適切に行わ

れるようになりました。さらに仙南広域からの重症救急患者の搬入・搬送の目的で、ドクターへりの運用も始まっており、辺境地からの外傷患者の受け入れや、循環器系の重症患者の高次機能病院への搬送などを行っています。また平成27年5月には、緩和ケア病棟が開棟し、癌末期の方々に、医療面だけでなく精神面を含めて貢献できるようになりました。こうして年代的には小児からご高齢の方まで、病期としては急性期から終末期まで、対象疾患に多少の制限はあるものの、大部分の住民の方々に専門的医療を提供できる診療態勢が整いました。

平成29年4月の時点では、17の診療科に医師として常勤医66名、初期・後期研修医20名ほどが勤務しています。看護師は283名、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、医療社会福祉士などを含めると総

勢514名と、開院当初のほぼ2倍の職員が中核病院で勤務しています。また、本年10月には、東北大学病院から、前消化器内科教授で、病院長と医学部長を歴任された下瀬川徹先生を企業長としてお迎えしました。着任早々、内藤広郎院長とツートップで、病院の経営改善に着手されるとともに、病院機能のさらなる向上を目指し、仙南地域をくまなく走り回って、各病院の院長をはじめ、地域の首長や行政担当者と精力的に面会し、顔の見える関係を築いています。



… 肢体不自由の障害者手帳をお持ちの方を 対象とした検診の実施について …

肢体不自由の障害者手帳をお持ちの方を対象とした検診を、宮城県リハビリテーション支援センターから委託を受けて、当院リハビリテーション部で実施します。

検診項目は、問診、筋力測定、歩行の評価、肺活量等の測定、日常生活動作等の評価、リハビリテーション科の医師による障害相談です。

なお、検診には事前申し込みが必要です。お申し込みやご質問等につきましては、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

開催日：2月2日から3月16日までの毎週金曜日
時 間：14時受付（検診終了は16時30分頃を予定）
問い合わせ：みやぎ県南中核病院リハビリテーション部受付
TEL 0224(51)5500 内線(1704)



… 面会時間のお知らせ …

※入院患者さんの安静・治療のため、面会時間は必ずお守りください。

※患者さんの状態によっては面会時間内でも面会をご遠慮いただく場合もありますので、ご了承ください。

※面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。面会後は必ず返却をお願い致します。

※インフルエンザの流行がおさまるまでの間、院内感染の防止のため面会者は全員マスクの着用と入室前の手指消毒をお願い致します。

平 日
一 般 病 棟 14:00～20:00
2階重症病棟 14:00～16:00
土曜日・日曜日・祝日
一 般 病 棟 11:00～20:00
2階重症病棟 14:00～16:00

●●● 診療科紹介 ●●●



企業長挨拶

企業長 下瀬川 徹

平成29年10月1日付けで、みやぎ県南中核病院企業団の企業長に着任しました下瀬川徹と申します。どうぞ宜しくお願ひします。企業長とは耳慣れない役職と思われるかもしれません、みやぎ県南中核病院と村田診療所の経営、人事を担う責任ある立場にあります。本院は角田市、大河原町、柴田町、村田町の1市3町の出資により運営される自治体病院ですが、患者さんは県南全域から集まっており、まさに県南医療の中心とも言える拠点病院です。県南地域の皆様の健康を守り、安心して医療を受けられるよう、良質で温かい医療を提供しつづける病院であるよう努力して参ります。

下瀬川という苗字は珍しく、私自身、なかなか同姓にお目にかかることはありません。岩手県北上市郊外の江釣子村にルーツがあり、ここに同じ苗字の家が何軒か見られます。父が地方の勤務医であったため、幼少期から学童期にかけて秋田県や青森県の片田舎で育ち、地域医療に尽くす父の姿をみて医師を志しました。昭和54年に東北大学医学部を卒業後、東北大学第三内科で消化器病、特に膵臓の病気を専門に診療や研究を行ってきました。平成11年に第三内科の流れを汲む、東北大学消化器内科の教授に就き、この9月まで19年余にわたり医局の運営に携わってき

ました。現在、県南中核病院の消化器内科のメンバーは皆、私の教え子たちです。東日本大震災後の平成24年から3年間にわたり東北大学病院長、東北大学副学長を勤め、引き続き平成27年から東北大学医学部長を2年間勤め、震災後の医療、研究の復旧・復興に努力してきました。このような経験を生かし、今後はみやぎ県南中核病院の発展と充実に精進したいと考えています。

消化器は身体のなかの最大の臓器であり、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、脾臓、胆道と守備範囲が広いため多くの患者さんを診療します。特に、癌で死亡する患者さんの数では第1位が肺癌ですが、第2位が大腸癌、第3位が胃癌、第4位が膵臓癌、第5位が肝臓癌と、上位5位のなかに消化器癌が4つも入ります。膵臓癌は特に死亡率の高い悪性な癌で、超高齢社会を迎えたわが国では急速に増えており、予防や早期発見が重要です。私は、県南中核病院の運営だけではなく、膵臓診療を含む消化器全般の診療を一層充実させて皆様の健康を守ることもミッションの一つと考えています。今後も引き続き皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願ひ致します。



住民の皆様へ



当院は、地域のかかりつけ医の先生方と連携し役割を分担しながら診療にあたっております。初期診療はかかりつけ医の先生で、高度あるいは専門的な医療が必要な場合は当院で担うというように、役割・機能を分担していますので、以下の事をお願いしております。

- ①緊急性のない場合は、かかりつけ医の先生を先に受診していただくようお願いいたします。
- ②地域の診療所からの紹介及び予約の患者さんが優先となっておりますので、紹介状がない場合は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。(救急を除く)
- ③当院受診の際、紹介状のない患者さんは診療費の他、厚生労働省告示により保険診療外として1,620円(税込み)をいただいております。(平成30年3月まで)



小児科

小児科部長 大原朋一郎

当科の診療は各曜日の当番医師が外来診療を行い、(1)発熱、咳嗽、嘔吐、下痢等主に感染によると思われる急性期の症状への対応と(2)気管支喘息、食物等アレルギー疾患、心疾患、痙攣性疾患、内分泌疾患等経過観察や予防、加療が比較的長期に及ぶものへの対応を行っています。主に(1)の中で原因がはっきりしない、あるいは全身状態が増悪していて外来での治療が困難、ないし長期間に及ぶことが予想される時は入院の上精査、加療にあたります。

当科は必ずしも紹介状や予約を必要としていませんが主に(2)で予約が入っている方が既にいらっしゃる場合は緊急性がない限り待ち時間が生じます。また病院の機能上紹介状のない初診時の選定療養費が課されている点も御了承下さい。

多くの皆さんが緊急性がなく「どこかに相談しようと思ってはいるけどなかなか機会がなくて」というもの中に夜尿症や便秘症もあるかと思います。これらも小児科で扱っています。

夜尿症とは「5歳以降で1ヶ月に1回以上の夜尿が3ヶ月以上続くもの」と定義されています。夜尿症の正確な頻度は分かりませんが、1つのデータでは就学直前の5~6歳児で約20%、小学校低学年で約10%台、10歳を超えて5%前後、中学生でも1~3%は存在しているものとされています。決してお困りの方は少なくありません。

御相談のタイミングとしては

- ①夜尿だけでなく昼間の尿失禁や遺糞が見られる場合は年齢に関係なく医療機関の受診をお勧めします。
- ②5歳以降で生活習慣の見直しを行っても改善しない場合
- ③小学校1~2年生でほぼ毎晩続く場合、あるいは週に数回の頻度だが生活習慣の見直しを行っても改善しない場合
- ④小学校3年生以上

の場合は医療機関を受診することを考えて良いかと思います。

ここでいう生活習慣の見直しとは

- (i) 規則正しい生活(早寝、早起き、決まった時間3食きちんと摂る等)
- (ii) 日中十分水分を摂取し夕食後~寝るまでは200ml程度までとする。
- (iii) 塩分を控える (iv) 便秘の解消 (v) 就寝前の排尿の励行 (vi) 睡眠中の寒さ、冷え防止
- (vii) 夜間無理にトイレに起こさない

夜尿症の自然治癒のピークは女児が10~11歳、男児が12~14歳とされ、成人になっても継続する例もまれに見られます。治癒率は未介入の場合1年後10~15%に対し、治療介入例は約50%とされています。以上参考にしてみて下さい。

便秘も頻度が多い割に、放置され悪化していくことが見られる疾患です。基礎疾患が隠れていることもないわけではありませんので、程度がひどい場合や長期間に及んでいる場合は一度小児科で御相談いただくことをお勧めします。



●●●第2回 がん診療について～当院の取り組み～(全3回)●●●



緩和ケア内科 佐 藤 俊

当院は、平成28年4月1日に【地域がん診療連携拠点病院】として指定されました。

がん診療連携拠点病院とは、全国どこでも質の高いがん医療が受けられるよう、国がん医療の診療機能など一定の要件を満たす病院について、県の推薦により厚生労働大臣が指定するものです。

そこで、3回にわたり当院の取り組むがん医療について掲載させていただきます。

第2回目は緩和ケアについて紹介いたします。

がんの診療を受ける患者さんにおいてはその診療過程で時に様々な苦痛（痛み・吐き気・息苦しさなどの身体的苦痛、気持ちのつらさや不眠などの精神的苦痛など。）を経験することがあります。

緩和ケアではそうした患者さんの苦痛を多職種のスタッフ（医師、看護師、臨床心理士、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど）が協力して和らげ、患者さんの生活の質（QOL：Quality of Life）を改善することを目的としています。

こうした苦痛に対するケアはがんの終末期にのみ行うものではありません。診療の早期から行うことで治療継続を可能にしたり、またがんが進行して有効な治療手段がなくなった場合であっても、苦痛を軽減することで残された時間QOLを保った状態で療養生活を送ることができます。

当院においては緩和ケア内科が平成27年5月に新設され、現在外来と入院（緩和ケア病棟）で診療を行っています。

外来では院内・院外から緩和ケアが必要と判断された患者さんの紹介を受け、上記の苦痛の緩和を行うと共に患者さんや御家族の希望に応じて他施設からの往診などによる自宅での緩和ケア（在宅緩和ケア）や後述する当院緩和ケア病棟の入院などの橋渡しを行います。また当院での緩和ケアを受けつつ、ご自宅でなるべく生活していきたい患者さんにおいては当科へ通院し緩和ケアをお受けいただきながら自宅での生活を続けていけるように援助いたします。

入院について緩和ケア内科で入院していただく緩和ケア病棟は上記の緩和ケアを専門に提供する病棟です。この病棟は患者さん御自身が御自分の病状を理解し、がんに対する積極的な治療や延命の処置をしないことを同意され、緩和ケア病棟への入院を希望される方が利用できます。一般病棟や在宅緩和ケアでは対応困難な心身の苦痛のある患者さんへのケアを実施すると共に当院で人生最後の時期を迎えることとなった方には穏やかにその時を迎えるように御本人・御家族含めて援助するための病棟となります。また、一旦緩和ケア病棟へ入院された方であっても症状緩和がなされ、自宅での療養が可能となった患者さんにおきましては外来と同様に自宅療養や他施設への転院・療養の橋渡しをいたします。



●●●栄養サポート●●●

小松菜の煮びたし



栄養量(1人前)

エネルギー45kcal 蛋白質3.2g 脂肪1.9g
カリウム356mg 亜鉛0.4mg 塩分0.5g

材料(2人前)

油揚げ……………1/2枚
小松菜……………100g 1/2把



だしに使うもの

昆布……………2g 3cm
干し椎茸……………2g 薄切り6枚
鰯節……………2g 薄切り3枚
日本酒……………小さじ2杯
みりん……………小さじ2杯
醤油……………小さじ1杯
水……………100g 1/2カップ

作り方

- ① 油揚げは1/2枚を半分に切り、さらに細く切る。
- ② 小松菜は十分に水洗いをして、3cm程度に切る。
- ③ フライパンに油あげを並べて（油は敷かなくてもよい）、焦げ目がつくまで中火で焼き、水1/2カップを加え、細く切った昆布、干し椎茸、鰯節をいれ3分程度煮る。
- ④ ③に日本酒、みりん、醤油を加え、味を調えて小松菜を加えて好みのかたさに煮る。



普段よく作る料理だと思いますが、今回はだしをきかせて薄味に仕上げました。

小松菜は含有量で見ると、ビタミン類、鉄分などどれをとっても非常に栄養価が高い野菜です。昆布には、うま味成分のグルタミン酸やマンニトールが含まれており、グルタミン酸は食べ物をおいしくする働きだけでなく、胃腸の調子を整え過食を防ぎます。また、塩分控えめでも、美味しくいただけるので無理なく減塩ができるといった効果もあります。

小松菜の代わりに雪菜や白菜もいいでしょう。是非お試しください。

●●●外来ボランティアの募集●●●

当院では外来ボランティアさんの募集をしています。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひご応募ください。

- ◎活動内容：ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い、図書の準備・整理など
- ◎活動時間：平日9:00～11:00のうち、

ご希望の曜日、時間で活動していただきます。（要相談）

- ◎活動条件：申込み時に18～65歳までの心身ともに健康な方

- ◎問い合わせ：みやぎ県南中核病院 総務課 千葉まで

TEL (0224)51-5500 (内線 2010)



現在は15名登録され、毎日平均2～3名の方に活動していただいております。ボランティア未経験の方も活動できるように、事前に面談とオリエンテーションを行っております。

△外来診療時間及び担当医師のご案内△

診療科	受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	甲状腺 (1~2名体制で診察予定) 13:00~15:00 (13:30~)	×	×	×	×	(新患)非常勤医師 (第2金曜) (再来)非常勤医師 (第1・3・4・5金曜)
	リウマチ・膠原病 13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	×	佐藤 仁	×
	腎臓病 13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	×	佐藤 仁	×
	9:30~11:00 (10:00~) 13:00~15:00 (13:30~)	×	×	非常勤医師	×	×
	血液 13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	×	市川 聰 (非常勤医師)
糖尿病・代謝内科	8:00~11:00 (9:00~)	坂田/近藤	相澤/非常勤医師	近藤敬一	相澤貴志	近藤/非常勤医師
循環器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子	塩入裕樹	井上寛一
	再来	塩入裕樹	井上寛一	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子
消化器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	佐藤晃彦	木村 修	平本圭一郎
	再来	佐藤晃彦	平本圭一郎	梅村 賢	阿曾沼祥	木村 修
	肝臓(紹介のみ)	×	×	木村 修	石井元康 (非常勤医師)	×
腫瘍内科	新患 13:30~16:00 (14:00~)	杉山克郎	杉山克郎	杉山克郎	杉山克郎	杉山克郎
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	杉山/非常勤医師	杉山/非常勤医師	杉山克郎	杉山/非常勤医師	杉山克郎
緩和ケア内科(紹介のみ)	13:00~14:45 (13:30~)	佐藤 俊	×	×	×	佐藤 俊
呼吸器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	山縣俊介	大河内眞也 (非常勤医師)	山縣俊介	綿貫善太
	再来		綿貫善太	岡田信司	岡田信司	
呼吸器 吸気器・肺腫瘍 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	非常勤医師	×	×
神経内科	新患(予約優先) 8:00~11:00 (9:00~)	宮澤康一	澁谷 聰	菅野重範	非常勤医師	望月 廣
	再来	菅野重範	大嶋龍司	澁谷 聰	望月 廣	宮澤康一
外科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	土屋堯裕	嶋健太郎	後藤慎二	上野達也	井上亨悦
	再来	高橋/井上	上野達也	土屋堯裕	嶋/(高橋)	後藤慎二
	呼吸器 外科 (紹介のみ) 8:00~11:00 (9:00~)	×	非常勤医師 (第1・3・5火曜)	×	×	×
	血管 外科 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	非常勤医師 (第2・4木曜)	×
	乳膣 外科 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師 (第1火曜)	×	×	非常勤医師 (第3金曜)
甲状腺 外科 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	×	後藤慎二	
ストマ外科 第1木曜・第3水曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	(再来)内藤広郎 (新患)内藤広郎 (第1木曜)	(新患)内藤広郎 (第3水曜)	×
肛門外科 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	×	×	内藤/上野	×	×
脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	×	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶
整形外科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	橋本禎敬	橋本禎敬	日下 仁	日下 仁	芦名善博
	再来		日下 仁		芦名善博	橋本禎敬
リウマチ外科・脊椎外来	8:00~11:00 (9:00~)	橋本禎敬	×	×	×	×
形成外科	8:00~11:00 (8:30~)	澤村/福士	澤村/福士	澤村/福士	澤村/福士	
褥瘡外来(紹介のみ)(第2木曜)	13:30~15:00 (14:00~)	×	×	澤村 武 (第2木曜)	澤村 武 (第2木曜)	×
皮膚科	新患 8:00~11:00 (8:30~)	×	赤間智範	非常勤医師	赤間智範	東條玄一
	再来		東條玄一		東條玄一	赤間智範
リハビリテーション科	14:00~16:00 (14:00~)	瀬田 拓	×	瀬田 拓	×	×
小児科	一般(午前) 8:00~11:00 (8:30~)	大原/吉田/ 渋谷	林/吉田/ 渋谷	渋谷/吉田 渋谷/吉田/大原	吉田/渋谷/ 大原	大原/渋谷/ 吉田
	一般(午後) 15:00~16:00 (15:00~)					
	心臓 13:00~15:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
アレルギー (予約のみ)	8:00~11:00 (8:30~)	林 千代 (再来)	×	×	×	林 千代 (再来)
	13:00~16:00 (13:30~)					
産婦人科	一般 8:00~11:00 (9:00~)	島田勝子	圓谷 隆	戸澤秀夫	酒井啓治	圓谷 隆
	妊婦健診	圓谷 隆	酒井啓治	島田勝子	島田勝子	戸澤秀夫
泌尿器科	8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	石井達矢	石井/非常勤医師	和泉卓司
眼科	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	非常勤医師	×
耳鼻咽喉科	8:00~11:00 (9:00~)	新川/工藤/渡来	新川/工藤/渡来	×	新川/工藤/渡来	工藤/渡来
	14:00~16:00 (14:30~)	非常勤医師	×	新川/工藤/渡来	×	
歯科口腔外科	一般(午前) 8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	一般(午後) 13:00~16:00 (13:30~)			×		
	口腔顔面痛外来 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	千葉雅俊 (非常勤医師) 第2・5水曜	×	×

●この時間等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。
●他院からの紹介状をお持ちの方のみ、下記フリーダイヤルでの予約を受け付けています。受付は、平日の午前の8時から11時、午後の2時から4時までです。

TEL: 020-451-55000 (代表)
●緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。

●原則として電話による新患の予約受付はいたしておりません。
(地域医療連携室・フリーダイヤル 0120-60-5500)

この時間等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。